石垣綾子

金澤は私の好きな古都の一つで、訪ねる度に、私たちの血に流れている先祖の魂に触れるような気がする。前田侯百万石の城下町は戦災もあのず、昔ながらの屋根瓦が、美しい東山をみせて、しっとりした重みを誇っている。

かつてのお城は現在から埋められて大通りになって、しゃっちょこばった金澤大学の校舎となっている。城址の城跡とがかすかに残っている。

二

上野の鳥侍らがよみがえってくる。お城の庭園であった兼六園に来る。

古木に囲まれた池の中ん中にかけた島が、あって、ほこらのようなところに弁財天がまつってあるが、私の関心を強く引いたのは、大臣になった三十代の美女たちが、殿様の寵愛を得るようにと、毎夜午れひとりもよこさず、ほこらの前に坐りつづけて、祈りを捧げたということだ。

女の業さをつくづくと思わせられた。